



いざく



- い 一生けんめい学び、考える子
- ざ 最高にやさしく、思いやりのある子
- く 苦しさに負けない、たくましい子

<http://www.ed.city.hioki.kagoshima.jp/~izaku/>

児童数 204名 TEL099-296-2021

残暑の爪痕

校長 下脇 徹

残暑がなかなか収まらず、10月に入っても一日の最高気温が30度を超える真夏日が、17日間も続きました。11日、日置市東市来町では、10月の観測史上日本最高気温となる32.9度を記録し、鹿児島県内でも4か所が過去最高を更新したそうです。

暑さが続く中ですが、新型コロナウイルスに対する警戒基準も「ステージⅡ」に引き下げられ、予定していた行事も順調に進めることができます。9日の土曜授業では、小中連携郷土学習が行われ、中学生が母校で貢献活動を行ってくれました。久しぶりに昨年度の卒業生と会いましたが、体も心もすっかり成長したなど感じることでした。中学生が、久しぶりの母校をどう感じたのかはわかりませんが、母校で小学生のために貢献している姿をととても頼もしく思い、改めて有意義な活動であったと感じることでした。

さて、学校には2本の大きな「カエデ」の木があります。正式には、「モミジバフウ」とか「アメリカフウ」と呼ぶのだそうですが、高さが20m近くあり、伊作小の名物でもあります。そんなカエデの葉が突然枯れ始めました。原因は、体調1cmほどの青虫みたいな幼虫で、カエデの木から蜘蛛の糸のようなものを垂らして空中に浮遊していました。あまりの数に驚き、さっそく教育振興課に連絡し、その日のうちに業者の方に薬をまいてもらことでした。まだ、ときおり蜘蛛の糸を伝って下りてくる小さな青虫はいますが、特に人には害がないようなので、様子を見ているところです。

これも異常気象のせいなのでしょう。残暑の爪痕は、いろんなところに現れてくるようです。

小中連携郷土学習（母校貢献活動）



<低学年の活動>



<中学年の活動>



<高学年の活動>

吹上地域では、10月の第二土曜日に郷土についての理解を深め、誇りと関心を持たせるための活動を行っています。本校では、低・中・高学年別に活動を行い、本校を卒業していった中学生も一緒に参加しました。中学校生は、小学生との活動前に、校庭の草抜きや校舎内のトイレ・窓掃除もしてくれました。

<低学年>

読書ボランティアの方々から民話等を学びました。中学生は、低学年の児童に分かりやすく話してくれ、とても楽しそうでした。相手意識を持って、表現活動をしてくれたことをうれしく思いました。

<中学年>

学校周辺の公園や神社をグループでクイズを解いたり、長縄跳びをしたりしながら回りました。中学生は、それぞれの場所で安全確認やクイズを出題したり、長縄を回したりしてくれました。その後、伊作小に帰り、一緒に鬼ごっこなどをして遊びました。

<高学年>

中学生と一緒に伊作城跡や海蔵院で、地域学校協働活動推進員さんから説明を聞き、地域の歴史について共に理解を深めました。その後、中学生が「ひおき学」として学習したことを小学生に説明してくれました。

このような活動を通して、小学生と中学生の距離が縮まり、中一ギャップの解消につながっていきます。そして、愛校心や郷土愛が育まれていくと思います。子どもたちは、中学生と接してとても楽しそうでした。

12月には、吹上中校区の4小学校の6年生が吹上中に集まり、交流をしたり中学校の体験授業を受けたりする「集合学習」が行われます。今後も、吹上地域が一体となって、小学校と中学校、学校と地域の『つなぎ』を大切に活動を進めていきます。

地域が育む「かごしまの教育」県民週間 11月1日～7日

上記の期間、本校は11月1日～5日をフリー参観週間にしています。保護者や祖父母の方々には、新型コロナウイルス感染症対策を行って、子どもたちや学校の様子を参観にお越しく下さい。

- 時間 8:55～11:35 *1～3校時
- 参観後はアンケートに御協力ください。
- 校舎西側及び吹上中央公民館前の駐車場を御利用ください。
- 入館の際に、アルコールによる手指消毒をお願いします。
- 職員室前で検温し、受付名簿にお名前を記入していただきます。
- マスク着用の上、3密（密閉、密集、密接）を避け、廊下からの参観をお願いします。
- 咳や発熱等の風邪の症状があるときは、参観を見合わせてください。
- 給食試食会、高齢者との交流活動、市音楽発表会は中止となりました。

集団宿泊学習 (5年生)

5年生が、9月29日(水)から1泊2日、県立南薩少年自然の家で集団宿泊学習を行いました。

一日目は、自然散策、カヌー体験、ナイトウォークを行いました。

二日目は、イングリッシュフォトアドベンチャーを行いました。

この二日間の活動に向け、5年生は二学期の始めから、「時間を守って行動する。」「積極的に助け合う。」「静と動を意識して行動する。」の3つを、学校生活の中で意識して取り組んできました。

また、新型コロナウイルス感染防止のために、検温をしたり、三密を避けたりと、新しい生活様式を徹底しました。

集団宿泊学習で学んだことや気付いたことを、今後の学校生活に大いに生かして欲しいと思います。



稲刈り体験

10月14日(木)、3年生が稲刈り体験を行いました。

初めて稲刈りをする子どももいましたが、次第に鎌の使い方が上手になっていました。子どもたちにとって、貴重な勤労体験になりました。これからは、生産者や食べ物の「いのちをいただく」こと

への感謝を忘れることなく、大切に食べてほしいと思います。

米作りは、田植えと稲刈りだけではありません。どのような仕事があるか、詳しくは5年生の社会科で学習します。体験が、より深まりのある知識になっていくことでしょう。

貴重な体験の機会を与えてくださった皆様に感謝いたします。



火災想定避難訓練

10月15日(金)、不審者・津波に続く今年度3回目の避難訓練がありました。今回は、火災を想定したものです。消火器を使った消火訓練も行われました。消防署の方からは、整然とした避難ができていたとの話がありました。



お…押さない
か…駆けない
し…喋らない
も…戻らない

た。出火場所の放送をよく聞いて、先生方の指示に従い、予定より2分早く校庭に集合できました。「お・か・し・も」を意識していたからこそその行動であったと思います。

～ 人権教育 ～



9月17日(金)は家庭教育学級で人権教育について学習しました。

子どもたちの人権意識は、大人や地域が大きく関わっていることを学習しました。

さまざまな人権問題を正しく理解し、その解決に取り組むとともに、これらの人権問題を通して自分自身や家族、まわりの人の人権についても認識を深め、あらゆる人の人権が尊重される社会を目指していくことが必要です。この学習を実施することで、自分たちの生活を振り返り、人権意識を高めることにつながりました。

ウミガメ放流



9月24日(金)、4年生が入来浜漁港にウミガメ47匹を放流に行きました。このウミガメは7月下旬に保護した卵が孵化したものです。当日の朝にたくさん孵化していて、急遽の放流でしたが、元気に大海原に泳いでいきました。子どもたちは、「かわいい。」「元気でね。」「がんばってね。」「30年後に帰って来て。」などと声をかけていました。今年は、合計99匹のウミガメが孵化しました。世界的に絶滅が危惧されているウミガメに、直接触れることができる環境に、吹上地域があります。子どもたちは、実物に触れることで、生命尊重の心情や郷土愛がより高まりました。

<主な行事予定>

- 11月 1日(月)～7日(日)
 ☆ 地域が育む「かごしまの教育」県民週間
 2日(火) 半成人式(4年生)(4年生保護者対象)
 4日(木) 読書集会
 5日(金) 歯っぴータイム
 拡大保健委員会(6年生及び6年生保護者対象)
 9日(火) なかよし交歓会
 ※ 午前中実施(給食有り)
 11日(木) 委員会活動(朝)
 14日(日) PTA資源回収
 ※ 雨天時: 11月21日(日)に延期
 16日(火) 家庭学習強調週間(～26日)
 市陸上記録会(6年)
 ※ 6年生のみ午前中実施(給食有り)
 18日(木) 持久走大会前臨時健康診断
 クラブ活動
 25日(木) 代表・児童保健委員会(朝)
 26日(金) 校内持久走大会、学級PTA
- 12月 2日(木) 委員会活動
 3日(金) 校内持久走大会予備日
 8日(水) 第2回学校運営協議会
 9日(木) クラブ活動
 16日(木) 代表・児童保健委員会
 24日(金) 2学期終業式 大掃除
 25日(土) 冬季休業(～1/7)

※ 変更になる場合がありますので、各学年の週報や各種便り等でご確認ください。